

研究課題名：当院における肺癌に合併した Trousseau 症候群の臨床的検討
研究期間：西暦 2017 年 4 月 30 日まで
対象材料： ■ 診療録 2012 年 1 月～2016 年 8 月までに当科で診療を行った肺癌患者。
意義、目的：Trousseau 症候群は、担癌状態で血液凝固亢進により脳卒中症状を生じるものと定義される事が多いです。脳梗塞は ADL を大きく下げ、肺癌治療の妨げとなり、予後に関わる重大な合併症であり、病態を把握し、治療にあたる事が重要であると考えられます。
方法： 2012 年 1 月から 2016 年 8 月までに当科で診療を行った肺癌患者 813 名のうち、Trousseau 症候群を合併した症例 13 名につき、その臨床像の臨床記録をもとに後方視的に検討を行います。診療記録や抽出情報は厳重に管理し、学会発表や論文発表などの際も個人情報やプライバシーは保全致します。また、この研究において臨床情報を使用する事を承諾されない場合は、下記までご連絡下さい。また、その場合でも患者様が不利益を被ることは一切ございません。
問い合わせ・苦情等の窓口： 磐田市立総合病院 呼吸器内科： 妹川史朗 0538-38-5000